

今回は、1年生のオンラインセミナー 第13回 の報告です。

◇ オンラインセミナー「関ジモト大学online」

今年度は、例年夏休みに行っているフィールドワークに代わって、オンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の27企業と生徒が意見交換を行い、各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞きました。

各企業と生徒の交流について、第1回から第27回までシリーズで紹介します。

◇ 第13回 義春刃物株式会社

◆製造業

彫刻刀、はさみ、切出ナイフなどの文具や教材用刃物の製造販売を主な事業とし、業界では高いシェアを獲得しています。また、肉の筋切器のようなキッチン用品や、シャインカービングという新しいアート商品の製造も行っています。



SDGs	取組中	4 質の高い教育をみんなに	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	17 パートナリシップで目標を達成しよう	今後の目標	12 つくる責任つかう責任	15 陸の豊かさも守ろう
------	-----	---------------	----------------------	--------------	----------------------	-------	---------------	--------------

◆オンラインセミナー「関ジモト大学online」に参加した生徒の感想

- ・現代の生産・販売は技術だけでは通用しないので、アイデアを出し、応用・活用できる方法を考えていかないといけないということを知った。これからは視点を入れ替えて、これまでとは少し違う事柄を考えることが重要になるというお話で、実際にそれに取り組み、実現しようとしていることがすごいと思った。
- ・将来のために彫刻刀の優れた技術を応用すること、彫刻刀の新しい可能性を生み出したいという話に感心しました。SDGsの目標12については、廃棄物を出さないために柄の部分のプラスチックを何で代用するか考えているそうです。プラスチックは安いがリサイクルができないため、環境を悪くしてしまいます。そのため、木の柄に戻すか、それ以外の新しい材料で作るか悩んでいるという話を聞いて、今後もSDGsにしっかり取り組もうとされているのだなと思いました。
- ・全国の小学生が使っている彫刻刀のほとんどが関市で作られているということに驚いた。義春刃物さんでは、誰もが彫刻刀を変えるように何年も価格を上げずに維持していて、それによってSDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」に取り組んでいます。また、毎年賃金を上げたり、工場の多能工化を推進するなど、目標8「働きがいも経済成長も」にも取り組んでいます。関市には刃物の工場がたくさんあるので、工場同士で協力して作業を分担しているそうです。これは目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に当てはまります。今後の目標として、12と15のアイコンを挙げていて、いろいろな問題に目を向けている企業だと分かり、素晴らしいと思いました。